

令和3年度第2回川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会 グループディスカッションの実施について

1 目的と狙い

川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会では、14名の委員による運営委員会を立ち上げ、地域包括ケアシステムの第2段階の展開に向けて、取組を推進しています。

この連絡協議会では、多様な参加者同士の意見交換を通じて地域での連携の可能性を模索し、参加者同士が「顔の見える関係」になり、川崎市の地域包括ケアシステムの担い手として地域で活躍いただくことを目指しています。



2 実施の考え方

本グループディスカッションの考え方は、次のとおりとします。

(1) 地域包括ケアシステムに対する「考え方」や「意見」の集約

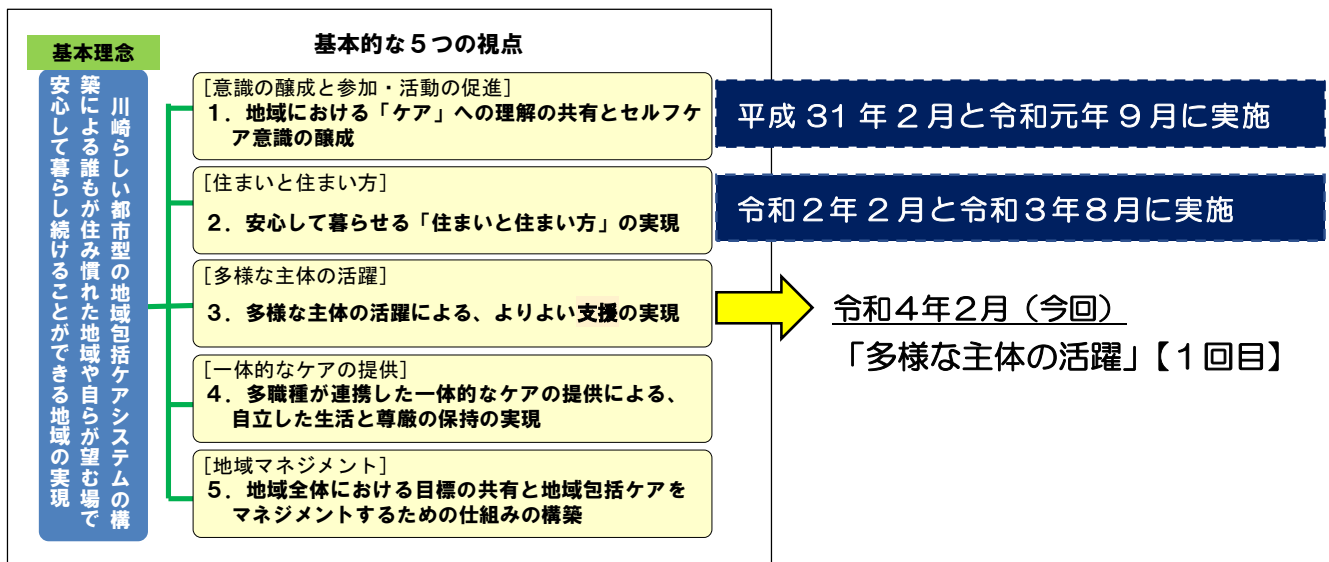
自らが地域包括ケアシステムの担い手と意識できるよう、地域包括ケアシステムの「考え方」や「意見」をカテゴリごとにまとめます。

(2) 「全員参加型」のグループディスカッション

関係機関、専門職団体、企業、地域団体、大学など、多様な参加者が互いに気後れせず、また対等に話し合いに参加できるよう、『自分の立場を考える時間をもつ』・『発言しやすい雰囲気をつくる』・『他人の発言をよく聴く』というルールで話し合いやすい雰囲気を醸成します。

3 連絡協議会のテーマについて

「地域包括ケアシステム推進ビジョン」の基本的な視点を参考とし、設定することとします。



4 実施方法

(1) テーマ

「多様な主体の活躍による、よりよい支援を実現するには」

(話し合うテーマ)

「企業・団体等のサービスを市民に広く利用してもらうために必要なこと」

ヒント：「ヒト・モノ・カネ・情報」「障壁となっているものは何か」

※「多様な主体」とは

行政をはじめ、事業者や町内会・自治会などの地縁組織、地域・ボランティア団体、住民など、地域における様々な担い手のことを指します。

※「サービス」とは

ここで言う「サービス」には、企業・団体が営利事業又は非営利事業として行うものだけでなく、CSR活動を含むものと考えてください。

(2) 実施手法

グループディスカッションは KJ 法により実施し、最後に今回のテーマについて一番重要だと思うこととその理由を発表していただきます。

※「KJ法」とは

多くの意見・アイデアを分類し、論理的に整理して問題解決の道筋を明らかにしていくための手法

(3) グループニング

1グループ 10名程度のグループを作ります。

グループは、様々な団体（関係機関、専門職団体、企業、地域団体、大学等）で構成されるよう、行政で振り分けを行います。

(4) ファシリテーター・書記

各グループにファシリテーターを配置するとともに、補佐役として各区の行政職員が同席します。また、書記として委託事業者のスタッフを配置します。

(5) タイムテーブル

別紙のとおり

(6) まとめ方

各グループの意見、講評コメントは、後日報告書としてまとめます。

グループディスカッションに参加した感想や話されなかった意見等がありましたら、アンケートに記入してください。

<タイムテーブル>

時 間		内 容
18:00~		市長挨拶
18:05~ 18:15	10分	川崎市における地域包括ケアシステムの取組状況 「川崎市における地域包括ケアシステム構築の取組」 (説明者) 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室担当課長 久々津 裕敏
18:15~ 18:35	20分	川崎市市内での活動報告 「市民ニーズに応じた多様な主体との連携について」 (発表者) 東京ガス株式会社川崎支店 地域広報グループ主任 増田 和代 氏
18:35~ 18:40	5分	グループディスカッション全体の流れの説明 全体の流れ、グループディスカッションのルールについて説明 (説明者・進行役) 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室担当課長 久々津 裕敏
18:40~ 18:50	10分	自己紹介 (アイスブレイク) 一人1分以内で自己紹介をしてください。 ※テーマ「コロナの流行が落ち着いたらやりたいこと」
18:50~ 19:00	10分	個人ワーク ・「企業・団体等のサービスを市民に広く利用してもらうために必要なこと」について、一人二つを目安に、発表できるように考えをまとめてください。 ・「〇〇を××すること」等、項目出しは簡潔にお願いします。 ・必要に応じてメモを取る等、発表に向けた準備もお願いします。
19:00~ 19:40	40分	グループディスカッション (個人ワーク発表等) ・個人ワークで考えたことを一人一つずつ、順番に発表してください。 ・発表の際は、その内容や挙げた理由等、必要に応じて項目を補足する説明もお願いします。 ・発表した内容 (項目) は、書記が一つずつ記録し、画面上で共有できるようにします。 ・出された意見のうち内容が近いものをまとめ、タイトルを付けてください。 ・意見交換を行い、その中で一番重要だと思うタイトルを決めてください。
19:40~ 19:55	15分	報告 1グループ2分を目途に、各グループから重要だと思うタイトルとその理由を報告してください。
19:55~ 20:00	5分	全体講評 埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授の田中滋先生から講評をいただきます。
		閉会・副市長挨拶